護身武道 小林会新聞

NPO法人 全日本護身武道連盟 事務局
第７号
平成19年9月1日

行事

五月二十日　研修会・定例理事会
七月一日　草加教室開設
八月四日　夏期合宿
五日　夏期合宿・高段者審査
九月　二日　定例理事会
九月二三日　松戸教室開設
空手道選手権大会参戦
定例理事会

行事予定

十月　研修会・定例理事会
十一月　（三鷹支部にて開催）
十二月　忘年会
納会
一月　鏡開き
荒川区生涯学習センター
研修会・理事会
（草加支部にて開催）
平成二十年
二月　ＮＰＯ法人報告書作成
三月　１９年度報告書作成

ＮＰＯ法人全日本護身武道連盟理事会

平成十九年度第一回理事会
場所　荒川区立生涯学習センター　３Ｆ会議室
五月二十日（日曜日）１９：００～２２：００
審議事項
一　ＮＰＯ法人全日本護身武道連盟ホームページの件
二　夏期合宿の最終決議の件
平成十九年度第二回理事会
場所　荒川区立生涯学習センター　１Ｆ会議室
八月五日（日曜日）１５：４０～１８：４０
審議事項
一　科目の改正確認の件
二　今後の研修会のあり方関する確認の件
平成十九年度第三回理事会
場所　台東区東上野６丁目
台東区立社会教育センター、コミュニティ室
九月二三日（日曜日）１５：３０～１８：３０
審議事項
一　研修会開催場所確認に関する件
二　研修実行に伴う役割確認の件
三　広報活動に関する指示確認の件
四　その他確認に関する件
（各委員長の報告、ホームページに関する件、会計収支報告、その他の報告）
平成十九年度第四回理事会
場所　三鷹市
十一月十八日（日曜日）１５：３０～１８：３０
審議事項
一　支部拡大に伴う役員の役割確認の件
二　行事実行に伴う役割確認の件
三　各委員長中間報告確認の件
四　その他懸案事項確認の件

護身武道研修センター（第二四半期）

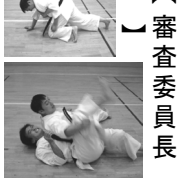
荒川区立生涯学習センター多目的室
（三時間）５月２２日
荒川区総合スポーツセンター第一武道場
（二日間にわたり十二時間）８月５～６日
連盟所属師範十一名全員参加により実施

護身武道武道研究会（第二四半期）

簡単護身術・科目に入れる。初段審査項目に三種類の技を入れ今後審査を行うこととした。【審査委員長により呈示あり。理事会にて承認を得た。】
研修会において、徹底指導を図る。

青少年育成相談室（第二四半期）

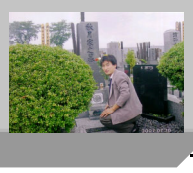
個別相談　二件
・登校拒否
・いじめ　０件



ＨＰ開設以降相談件数

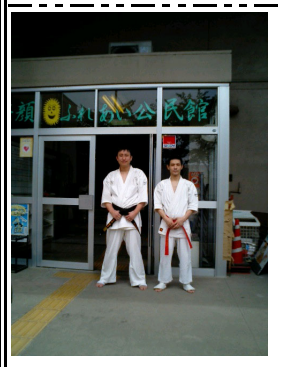
偲ぶ会活動状況

発起日　平成１４年２月１０日
形骸化してしまっている、ここ２～３年原点を考えていくべき時がきたような気がする。会費の徴収支払については、滞りなく事務局長、書記委員長と確認の上、とりおこなっております。
書記委員長
六月関東地方も梅雨入りをしました。雷が全域を包むように轟く、そして激しい雨、故秋月正行先生の墓前に今年も手を合わせる事が出来ました。この日と決めたら天候等気にせず挙行、着く頃には不思議と止まっていた。　ささやかながら、執り行なえた事に、今年も上半期を乗り越えたという安堵を感じました。



草加教室開設（７月１日より）

場所　草加市新栄町２４３新田西公民館
毎週日曜日　９：００～１１：００
指導　大村師範　片倉師範
大村広報委員長によれば、積極的な宣伝、広報活動を行い、練習生を増やしていきたいとのことであった。（どの地域教室においても言えることですが、知ってもらうことがどれだけ出来るかではないだろうか。）
二人で技の研究開発に力を入れている。
極め技、各種型については、既に審査科目に取り入れ審査を行っている。
審査委員長　片倉先生
更なる、科目内容の充実に向けて研究し、審査委員長として、技能向上に力を入れています。
広報委員長　大村先生
団体の普及発展に向けて、日々取り組んでいます。しかし、結果はついてこないのが現実です。パンフレット等の配布等、これからも各理事に声かけて、宣伝活動を行います。
協力・応援よろしくお願いします。



松戸五香教室

場所　松戸市五香西
日時　日曜日　１６：００～１８：００
指導師範　及川師範
当初は、要望があり、それに答えるかたちでの開設で、子供のみの指導になると思います、護身武道の精神を伝える努力を心掛けていきたい。指導することにより、自分自信のスキルアップに繋がると思っています。師範としての見識を高めるため、指導することは必要不可欠と考えます。研鑽、努力を怠ることなく邁進していきたい。
明日の担い手を、私の手で指導することが出来ればできたことのへの証になると思います。

笠置三鷹道場

場所三鷹市北野３の１の５
合宿に、高校生２名、中学生１名、小学生２名が参加した。夜のバーベキューを以降の楽しみがなかったので、若者達にはもの足りなかったのではなかったか！
新会員も着実に増えています。笠置先生の姿勢が反映されているのだろうと思います。前向きで積極的に取り組む姿は見習わなければならない。
先生の姿勢が反映されているのだろうと思います。前向きで積極的に取り組む姿は見習わなければならない。
５４回大会では、先生自らベスト８に入り、他武道にも通じる証明をした。結果を残す事が、全てではないが、我が武道の正当性を広く知らしめることも大切な師範の仕事です。
第５６回台東区空手道選手権大会に、笠置先生を含め参戦する。前々回の５４回大会では、先生自らベスト８に入り、他武道にも通じる証明をした。結果を残す事が、全てではないが、我が武道の正当性を広く知らしめることも大切な師範の仕事です。
新会員も着実に増えています。笠置先生の姿勢が反映されているのだろうと思います。前向きで積極的に取り組む姿は見習わなければならない。
困難な事柄も、人柄と積極性で克服してきたのだと思います。難しい年代である生徒をまとめ、今日まで指導してきたことは当団体として評価に値するものです。

近況報告（八月二六日）
夏休みが過ぎると、生徒達の体が楽しい合宿も終わり、ひとまわり大きくなっています。
道場内は常に、年上は年下の面倒をみることを重要視しています。上級の高校生トリオ（竹下、植田、大塚兄）が積極的なので盛り上がります。彼らのハートが深いから、ここそ出来ることで、いつも気にかける心遣い、良い事も悪い事も、下級に伝わって行きます。
各々が尊重し合うからこそ、話し合えたり、分かり合えたり出来るもの、私が望んでいるのは格別あいさつが良く出来るとか、技が上手な事ではありません。（耐え間無く）絶えず希望を持って生きる事、誰もが持っている心が温まったまま成長していく事です。

境町鹿島にて練習会開催

場所　猿島コミュニティセンター（茨城県猿島郡境町大字長井戸）
夏期特別高段者審査該当者２名（青木師範平戸師範）
日頃の練習不足を克服するため自主的に実施。
燃える情熱が一杯、ジレンマの中、「継続は力なり」を心のよりどころに、日々努力、その時期が来るときのために今はやりどころ！
「努力は人を裏切らない」
練習不足でありながら、感じさせないものがある。
八月五日高段者審査において合格認可された

本部　上野道場一般の部・二級審査（７月９日）

審査員　長島師範・片倉師範
審査申請者　高橋伸介　大関浩一
練習の成果が十分発揮されていた。社会人になると、時間のやりくりが大変、特に必要とされていた年代の人達には。
護身武道は、明日の自分に、誇りと気高さを身につける事が出来る唯一のものと知るでしょう。
今回は、４０歳代の二人、日頃の運動不足にと始めたのでしょうが、黒帯に、一歩一歩と近づくに従って厳しさを感じ始めているようです。

（年少部）１８：３０～２０：１５
練習の取り組み、１ヶ月に１度乱取り日を決め実施。会員数が減少しています。会員数を増やすために、今我々は何をすべきか考えよう。
必ず、結果があれば原因があるはず、自分の取り組んでいることへの妥当性の証明にもなるのでは。
頑張ろう！

上野小学校盆踊り・警備（８月２５日）

上野小学校においての、盆踊りが例年開催されています。
上野小コミニュティに所属・活動している当団体は、コミュニティ発足以来、警備等行っています。
地域貢献が大切な使命です。どの地域においても、ボランティア活動も含め積極的に参加して行きましょう。
当団体警備参加者
瀧井会長・斉藤師範・高橋さん、忙しい中、ご苦労様でした。

笠置世田谷道場

場所　世田谷区桜丘２の１の３９
桜丘中学校格技室
日曜日　１９：００～２１：００
指導師範　笠置師範
開設以降パフレット配布、宣伝にはカを入れているところですが、１名の練習生のみです。多くの生徒がいることが良しとは思っていませんが、伝えなければならないことが山盛りです。
まだまだ若いと思っていても、後継者となるべき人を育てて行くためには相当な時間が必要になります。
護身武道の道、それは哲学に他ならないと思います。それを大切に、広める苦しさと、難しさを喜びとしていきたい。
今後の宣伝活動に協力お願いします。

真土道場

場所　常磐線三河島駅から３分
旧真土小学校３Ｆ体育館
日時　毎週土曜日　１０：００～１２：００
指導師範　及川師範
開設から、早いもので５年が経過しました。
この間、指導者の良き練習場所としての位置を脱しきれずに今日まで来てしまいました。
立地条件が、最良にも関わらず、門下生はいませんでした
これは、ひとえに怠慢以外にほかならないと思っています
知らしめるはあのの努力は怠ったつもりはありませんでした。
報われることはありませんでしたが
ＮＰＯ法人全日本武道連盟の認証後、その表示を入れ宣伝パネルを掲出したところ、７月までに６名の見学者が来ています。
小林館長

三河島駅から
見た真土道場

徒歩3分の校門

8．25の練習
見学者と共に!!

夏期合宿開催
八月四日～五日
荒川総合スポーツセンター

第一日目　12：00～17：00
アッサンブレより講師を招き普段の練習では体得出来ない練習を行った。

八月四日（19：00～）
バーベキュー
宿舎　荒川区三丁目中央会館
荒川区教育団体会長・横山会長の御厚意により、盛大に行われた。非常に美味しいお肉でした。
練習終了後、風呂、道着の洗濯を役割を決め順序よく行いました。

二日目（八月五日）9：00～15：00
笠置三鷹道場生五名、元気に二日目も参加、上野道場生三名も参加。楽しく厳しい時間が過ぎていきました。
高段者審査も同時に行われ、今までにない緊張感の中午前、昼食をはさんで、指導者を替え研修に参加者は励みました。

高段者審査　五段位師範
申請者　瀧井正師範　大村元治師範
審査員　片倉師範　笠置師範

NPO法人全日本護身武道連盟・・八月五日認可
瀧井五段位師範
連盟の発展の為尽力していきたい。まだまだ技術、精神面、体力面において未熟なので、尚一層研鑽・努力を図りたい。

NPO法人全日本護身武道連盟・・八月五日認可
大村五段位師範
自分の持っているものを、今後、道場生に伝えていきたい。一人一人の個性を生かせるような指導を心掛けたい。スキルアップを図る！

高段者審査　五段位師範
申請者　中武寛師範　及川暁史師範
審査員　片倉師範　笠置師範

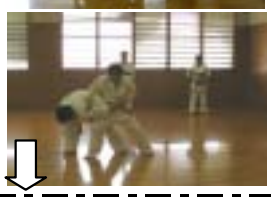
NPO法人全日本護身武道連盟・・八月五日認可
中武五段位師範
教える立場として、予想される練習科目を想定して指導できるように努力する必要がある。又怪我をしない、させないよう気を付けなければならない。

NPO法人全日本護身武道連盟・・八月五日認可
及川五段位師範
社会教育として、連盟の会員を増やし、後世に文化として残していきたいと考えます。今後、常任理事としの役割を全うしたい。

高段者審査　六段位師範
申請者　青木解師範　平戸俊一師範
審査員　斉藤師範　長島師範

NPO法人全日本護身武道連盟・・八月五日認可
平戸六段位師範
人間性が問われる現代、武道を学び身に付けることで人としての正しい生き方や、美しい所作、思いやりや感謝など、人間の心身の成長に大きく寄与することが出来る。

NPO法人全日本護身武道連盟・・八月五日認可
青木六段位師範
少子高齢化の社会になって行きますが、継続することで心身の衰えを遅らせ、健康維持できると思います。障害のある人にも護身武道の道が開ければと考えます。



第56回台東区空手道選手権大会九月二三日

早いもので、大会に参加するようになって12年になる。他武道（空手等）に挑戦は、当団体が歩んできた歴史でもある。ぬるま湯の中で、競い合っても進歩は望めない。それぞれの武道が誇りを持って開催しているる大会で、成果を残すことこそ意義あることではないだろうか。

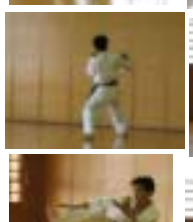
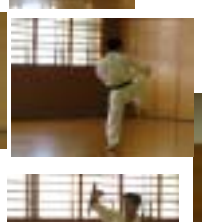
成果とは、勝利する事ではない、参加する事がどれだけの影響力を及ぼしたかである。

フルコン全盛の中、寸止めにもこだわり、明日に繋ぐことが大切である。今回、参戦される諸氏に敬意を表します。又、今回参戦されない諸氏については、是非次回は挑戦してみようではありませんか。

三鷹道場
斯波達也君
の演武

鋭い気合い、気迫あふれる師弟の演武

笠置師範
による、トンファー
単独器物
法演武

8月5日午後

昼食タイム

高橋さん　差し入れ持参で、忙しい仕事の合間来られる。

上野道場参加者
師範記念写真

審査対象器物科目
単独器物法演武
青木師範により行われた。往年の技の切れがビシビシとひびいてきた。

猿島臨時教室において、十分な練習をこなし、高段者審査に臨む心構えを随所に現していた。

審査対象自由科目
以前に比べ、二回り痩せた平戸師範、独特の間合い、鋭い気合いは他を寄せ付けないものがあった。

よく頑張りました！！

二人、暑さのため審査終了後休息。‥伝説を創る男、審査講評時目眩転倒した。高段者審査 の厳しい側面をみた、
さすがに回復は早い。
‥談笑中の二人‥

人を支える立場として我々はどのようにすべきか考える

書記委員長調べ

●不登校クラスに一人
文部科学省の学校基本調査（以下読売新聞記事）によると、昨年度不登校だった中学生の割合は、35人に1人の2.86％前年比0.11ポイント増で過去最高で、1学級に1人は不登校の生徒がいる計算と発表（8月9日）がありました。
（H18度）病気や経済的理由以外で年間30日以上を欠席した不登校の小、中学生は、前年度比約4,500人増の計12万6,764人で、5年ぶりに増加した。
特に中学生は前年度より3,400人増えて、10万2,940人となり、不登校の生徒が占める割合も、10年前の60人に1人から大きく増加してきた。
小学生、中学生が不登校に成ったきっかけ
一位　「無気力・非行」4万6,320人
二位　「いじめ」4,688人（小学759人、中学3,929人）
不登校が増えた理由について（同省が全国自治体に分析させたもの）
・自殺に追い込まれるくらいなら学校にいかなくてもいいと考える保護者が増えた。
・スクールカウンセラーがいじめの被害を最小限にするための選択肢として、不登校を進めるようになった。

投稿　大切なこと

この世に生を受け、誕生した我々、多くの人に祝福を受け、与えていたのです。

身近に誕生する新生児を見れば感じることはできると思います。ややもすれば、今が苦しいから、辛いから、楽しくないからといって自暴自棄になり誕生時のあの感動と幸福感を忘れてしまいそうになります。父、母は、子供についていつまで経つても同じ感情です。多くの親について、同じではないでしょうか。

学校で、社会で、生活をそれぞれ関わり合いを持って生きている以上、挫折、絶望感等を思い感じることは数多くあると思います。

「人間の成長は挑戦や失敗から生まれる」

人は、自分のためだけに生きているのではありません。多くの人に見守られているのです。大切な人、掛け替えのない人が不幸な事態に陥っているとき、何かをしたい、してやりたい気持ちで一杯になるのでは。それをできるのであるなら、喜びと満足感、幸福感に満ちあふれる事と思います。

それは、大切な人なのです、大切でない人などいないのです。尊敬とは、大切な人なのである生き方を考えながら、人の役に立てる自分を発見していこうではありませんか。

日常生活の中では、日々の生活に追われ、これらの事柄は意識の中から消え去ったかに思ってしまいます。しかし、非日常の時間を一週間に僅かな時間でも創ることが出来たなら、変わってくるのではないでしょうか。

武道を習うことにより、発想の転換が図れ、良き起爆剤になり、道が開ける可能性が高くなります。子供達には、逞しく生きる術（すべ）を会得できるでしょう、頑張れ、既定の枠にはまるな、愛しき若木達よ。

日を浴びて、無限の可能性を占めて大きく育って欲しい。

我々は、振り返ってみる余裕が出来た時、自分が何をして何を残してきたのだろうか思うことがあるだろう。永い時間を掛け培ってきた、技、思考を多少でも引き継ぐことが出来れば、この世に生を受け、今日まで生きた、最良の贈り物となることは間違いない。私が考える、勝利者とは、最後にどれだけ自分を体現できたかだと思う。まだまだ、そこに憑（つ）くまでは難しく、険しい道があるだろう。

今を生きることさえ、難しい現実の中、日々思考しながら大切に過ごすことだと思っています。

仲間の皆さん、感謝し「人に優しく」を心に、生きていることを大切にしていきましょう。

和菓子処　八千代堂
本　店　合羽橋通り　TEL(3841)3441
千束店　千束通り入口　TEL(3872)1705